

平成19年度病害虫発生予報第11号

平成20年2月6日
鳥取県病害虫防除所

予報の概要 [参考]

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
野菜	ラッキョウ	白色疫病	やや多い

気象予報 (抜粋)

1か月予報 (2月2日～3月1日：2月1日、広島地方気象台発表)

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

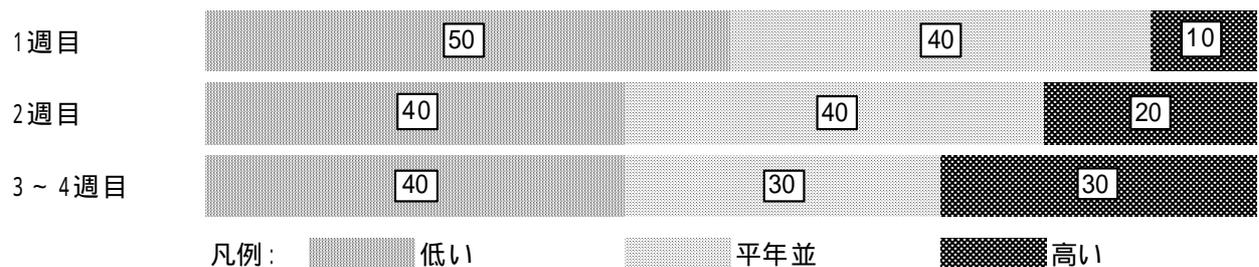
向こう1か月の気温は平年並または低い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は低い確率50%、2週目は平年並または低い確率ともに40%です。

< 向こう1か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



野 菜

[ラッキョウ]

1 白色疫病

(1) 予報の内容

発生量 やや多い

(2) 予報の根拠

- ア 1月下旬現在、県東部～中部の現地ほ場における発生量はほぼ平年並であった。
- イ 1～2月に雪又は雨の日が多いと、急速に発病が増加する。
- ウ 向こう1か月の気象予報によると、本病の発生にやや好適な条件が続くものと予想される。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 雪解け時や、降雨が続く場合の雨の止み間に、リドミルMZ水和剤500倍液、フロンサイド水和剤1,000倍液又はホライズンドライフロアブル1,000倍液などを展着剤を加用して散布する。
- イ 前年に発生の多かったほ場では、土壌中の病原菌密度は高いと考えられるので、ほ場の排水対策を徹底する。
- ウ 罹病株は、翌年の発生源となるので、ほ場外に持ち出し処分する。

[おしらせ]

農薬は、農林水産省の登録番号のあるものを、ラベルをよく読んで使いましょう。詳しい内容は、独立行政法人 農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報検索システム」(<http://www.famic.go.jp/>) から検索できます。

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守するとともに、周辺への飛散には十分注意しましょう。

< 鳥取県病害虫防除所ホームページ >

アドレス <http://www.jppn.ne.jp/tottori/>

病害虫発生予察情報や病害虫の診断方法などの情報をお知らせしていますので、ご利用下さい。

鳥取県病害虫防除所
〒680-1142 鳥取市橋本 260
TEL : 0857-53-1345、FAX : 0857-53-5647
E-mail : boujyot@titan.ocn.ne.jp

次回の予報発表は、平成20年3月5日(水)の予定です。